

拝啓 今年もいよいよあと残り少なくなってまいりました。皆様お変わりございませんか。いつもエンカウンターをお読みいただきありがとうございます。近所の公園は、今は冬枯れの時期ですが、落ち葉の散歩道を犬が喜びます。

今月は、小西先生の『ローマ人への手紙講解説教』の第8回目です。今回は、法然上人のことが、何度か出て参ります。

私は、法然上人には、いくつかの思い出があります。第1は、法然上人はわが岡山県の出身で、津山の南にゆかりの誕生寺というお寺があります。昭和42年友人の田淵謹也君の結婚式（岡山市の後樂園内の結婚式場）で小西先生が司式をされたとき、小西先生に岡山の我が家に1泊して頂いて、翌日母の友人の松田浄子さんの運転する車で、先生と阿部達雄君と一緒に誕生寺を訪ねたことがありました。第2は、私は昭和57年から59年まで2年間、京都府へ企画調整室長として勤務したことがあります。担当した仕事に関西学研都市の企画の仕事で苦勞をしましたが、しばしば金戒光明寺を訪ね、本堂に安置してある法然上人の座像にむかって、仕事が順調に進むように祈りました。第3は、やはり京都在勤中に、よく比叡山に行き横川なども訪ねましたが、途中の青谷という谷間の、法然上人がこもり経堂で善導の観經の注釈書を見つけた御寺（確か青竜寺と言いました）を訪ねたことも思い出しました。第4は、今回のエンカウンターの最終ページに、平山郁夫画伯の描かれた「法然偏依善導」という絵を載せましたが、その絵を平成11年に日本橋・三越で開かれた平山郁夫展で見、大変感激したことがあります。これらは、多くは約30-40年前のことですが、平山画伯の絵を見ているに思い出しました。

『南原繁の生涯』については、大学時代の山の会の友人たちや辻清明先生のゼミの仲間などがお祝いの会を開いてくれました。また、今までに3つの素晴らしい書評を頂きました。（『潮』12月号に佐藤全弘先生、『労働運動研究』12月号に石井和夫さん、『週刊読書人』に北海道大学教授の権左武志先生）

12月15日（土）午後、信濃町教会で、第3回思い出の童謡・唱歌の会を開き、40名以上の方々に参加をして頂き、楽しく過ごしました。この会も何とか軌道に乗った感じで、これから末長く続けたいと思っています。

12月22日（土）は、午前中は弱い雨の日でしたが、毎年年末に登っている陣馬山に登り、下山後陣谷温泉で、温泉に入り猪鍋で忘年会をしました。今年は、9人も参加してくれ、楽しい会でした。

暮の慌ただしい時期、お身体ご自愛のほど、祈り申し上げます。また、よいお年をお迎え下さい。

敬具

平成24年12月26日

山口周三

エンカウンターの読者各位